

愛知県環境影響評価審査会 会議録

- 1 日時 2021年（令和3年）5月31日（月）午前10時から午前11時30分まで
- 2 場所 審査会場：愛知県本庁舎6階 正庁
- 3 議事
 - (1) 東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書（変更）について
 - (2) 知多火力発電所7，8号機建設計画 環境影響評価方法書について
 - (3) その他
- 4 出席者
 - (1) 委員
中山会長、大石委員、富田委員
【オンライン出席】
生田委員、伊藤委員、岡村委員、長田委員、佐野委員、鷺見委員、田代委員、塚田委員、中野委員、夏原委員、西田委員、二宮委員、橋本委員、葉山委員、櫃田委員、宮崎委員、義家委員、吉永委員
(以上21名)
 - (2) 事務局
環境局：
岡田環境局長、小野技監、加藤環境政策部長
環境局環境政策部環境活動推進課：
谷口課長、戸田担当課長、鈴木課長補佐、国立主査、中村主任、大島技師
(以上9名)
 - (3) 事業者等
3名
【オンライン出席】8名
(以上11名)
- 5 傍聴人
1名
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - ・ 会議録の署名について、中山会長が大石委員と吉永委員を指名した。
 - (2) 議事
 - ア 東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書（変更）について
 - ・ 資料2、資料3及び資料4について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【中山会長】資料4の答申案について意見はないため、このまま審査会の答申としてよろしいか。

(委員から意見等はなし)

【中山会長】異議なしとされたため、答申案の内容をこのまま審査会から知事への答申とする。

- ・ 資料4の「東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書(変更)についての答申(案)」を、そのまま審査会答申とすることで了承され、別紙1のとおり答申した。

イ 知多火力発電所7, 8号機建設計画 環境影響評価方法書について

- ・ 知多火力発電所7, 8号機建設計画 環境影響評価方法書について、別紙2のとおり諮問を受けた。
- ・ 資料5、資料6及び資料7について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【葉山委員】ハヤブサの煙突の利用状況を見たところ、撤去される1～4号機の煙突の利用頻度が高いことが分かる。5, 6号機の煙突は残されるため、今まで利用している煙突の全てがなくなる訳ではないが、1～4号機の煙突が撤去され、新しい煙突が建設されるまでの間に、ハヤブサに対してどのような環境保全措置が必要なのか、また、新しく設置される80mの煙突についてどのような措置を行うべきかを検討する必要があるので、陸域の動物や生態系についても項目として選定すべきと考える。

なお、ハヤブサは主に中型以上の鳥類をハンティングするが、採餌環境に関しては大きく変わらないと判断できると考える。

【事務局】いただいた意見を基に部会報告案を作成し、次回の部会でお示しするとともに、事業者の見解についてもお示しさせていただく。

【夏原委員】葉山委員の意見に賛成である。また、ハヤブサに対しては工事中的影響が大きいと考えるので、その点も考慮していただきたい。

【事務局】一時的な工事影響についても項目として選定すべきというご意見として、部会報告案に反映するとともに、事業者の見解についても次回の部会でお示しさせていただく。

【二宮委員】ハヤブサの煙突の利用頻度は70～100m付近が一番多く、それより低い高さはあまり利用されていない。新しい煙突が80mになると、その煙突はあまり利用されず、場合によっては、煙突を高くする必要があるのではないか。

【事業者】ハヤブサが煙突を止まりに利用している事例は少ないが、有名などころでは、金沢市の石川県庁や大阪のホテルなどが利用されている。一概に、80mの煙突にすることで、ハヤブサに影響があるかどうかは判断が難しい。止まりや営巢の事例についてはお示しすることができる。

【中山会長】ハヤブサの専門家に意見を聴いたのか。

【事業者】専門家の方に助言をいただいておりますが、営巣が確認されなかったということ、また、この煙突を利用しているハヤブサには影響があるかもしれないが、地域の個体群を維持していく上では影響がないとの判断であったため、非選定とさせていただいた。

【葉山委員】ハヤブサは、ある程度の高さに止まってから急降下していく行動特性があるので、80～100mの高さが止まりの高さとして有効なのかと考えられる。飛翔軌跡からすると、この付近で営巣を試みていると考えられるが、営巣が確認されなかったとのことなので、煙突の構造が営巣に向いていないのかと推察した。新しい煙突の建設に当たっては、営巣できるような工夫をしていただけるとありがたい。煙突の高さに関しては、80mであればハヤブサが利用する可能性は高いと考える。

余談となるが、私が継続して調査・観察した東京駅丸の内に生息するハヤブサの事例を紹介する。ハヤブサがよく止まっていたビルの隣の高層ビルが壊されて、新たに高層ビルが設置され、この間にどのような行動をするか観察していたが、大きな影響は全くなかった。そういう意味では、先ほど指摘があった工事中の対応と、新たに建設する煙突の構造の工夫でハヤブサの生息環境が保全される可能性は高い。

その他、ミサゴが対象事業実施区域の上空を飛翔しているが、どのような目的で飛翔していたか教えていただきたい。

【事業者】本日、詳細な調査データを持ち合わせていないため、次回の部会でお示しさせていただきたい。

【葉山委員】ミサゴは魚食性の鳥なので、海側の飛翔はハンティングの可能性が高いが、内陸側の飛翔は営巣場所を探していた可能性がある。その場合はミサゴへの対応も考えていく必要がある。

【鷲見委員】水温の調査・予測について、施設が稼働していない現状で調査を行い、その結果を基に、将来予測を行うと読める。リプレース後の予測結果と比較するのは、稼働していない現状の調査結果ではないと考えるが、何と比較するのか。考え方を教えていただきたい。

また、新名古屋火力発電所、西名古屋火力発電所、知多第二火力発電所との重畳を予測するとしているが、近隣にはその他に製鉄所がある。製鉄所からの温排水は考慮しなくてよいのか。

【事務局】現況調査結果を基に、1～6号機が稼働しているという現状と、6～8号機が稼働している将来の予測を行い、これらと比較することとしている。

近隣の製鉄所については、現在稼働中であり、将来的にもその状況は変わらないと聞いている。現況の調査結果では、その影響も含めた結果が得られるため、予測の中で改めて製鉄所からの熱負荷を加えることはないと考えられる。

【鷲見委員】製鉄所からの温排水は予測の中では含めないとのことだが、発電所については、現況の調査結果に含まれており、予測においても温排水としての熱源を考慮したシミュレーションを行うことになっている。シミュレーションを行う上では、現況・将来ともに、熱源として入れないと計算ができないと考えるが、どのような考えか、次回の部会などで示していただければと考える。

水温の予測について確認をしたいが、1～6号機が運転している状態を

シミュレーションして、アセスとしては、そこから影響が小さくなるというところを見るということで正しいか確認したい。

【事務局】温排水の予測の考え方については、事業者の確認をして、次回お示しさせていただきます。

また、水温のシミュレーションについては、取放水温度差は小さくなる事業計画であり、ご指摘のとおり、稼働時において影響が小さくなることを見ていくことになると考えている。

【長田委員】一般意見の特殊気象の評価に関する基準は日平均ではなく一時間値であるべきとの指摘は、そのとおりだと考える。

工事に伴い搬入車両が増えることになるが、その車両に対して年式制限を設けること、例えば20年前の車両は入ってこられないようにするなど、NOx 排出量が低い車両のみを使用するといった規制が事業者から提示されることはあるのか。

【事務局】準備書の段階では、調査、予測及び評価の結果とともに事業者が行う環境保全措置が示されることとなる。工事車両に関する環境保全措置としては、低公害車の利用といった内容が盛り込まれることが多いので、このような環境保全措置を講ずることを事業者に求めていきたい。

【長田委員】そうしていただきたい。コメントとなるが、交通量調査を行うこととしているので、ナンバープレートから古い車両が入ってきているかを調査できるのであれば、そうした調査も行った方がいいかと感じた。

- ・ 知多火力発電所7, 8号機建設計画 環境影響評価方法書の審査について、知多火力発電所部会（別紙3）を設置し、その審議が付託された。

ウ その他

- ・ 特になし。

(3) 閉会

令和 3 年 5 月 31 日

愛 知 県 知 事
大 村 秀 章 殿

愛知県環境影響評価審査会

会 長 中 山 恵 子



東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理
施設整備事業に係る環境影響評価方法書（変更）について（答申）

令和 3 年 4 月 30 日付け 3 環活第 27 号の諮問については、別添のとおりお答えし
ます。

東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備
事業に係る環境影響評価方法書（変更）についての答申

はじめに

東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書（変更）（以下「方法書」という。）について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

都市計画決定権者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に環境影響評価を実施し、その結果を踏まえ環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。

1 全般的事項

- (1) 事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。
- (2) 新たなごみ処理施設の処理方式については、今後検討して決定するとしているが、決定に係る比較検討の経緯及び内容をわかりやすく示すこと。
なお、準備書作成までに処理方式が決定していない場合には、処理方式ごとに排出ガス等の諸元を適切に設定の上、予測及び評価を行うこと。
- (3) 豊橋市資源化センターのごみ処理施設には、アスベスト、ダイオキシン類等の有害物質が存在している可能性があることから、解体撤去工事に伴う飛散又は流出防止対策を徹底すること。
- (4) 調査地点及び予測地点について、その設定理由をわかりやすく示すこと。
- (5) 環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

2 悪臭

悪臭の影響を適切に把握できる時期に調査を行うこと。

3 動物

施設整備予定地の変更に伴い、ニホンイシガメの生息環境に影響を及ぼす可能性があるため、最新の知見に基づき、適切に予測及び評価を行うこと。

4 景観

建屋等の形状、色彩等の検討に当たっては、周辺景観と調和したものとなるように努めること。

5 その他

準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
令和3年4月30日	審 査 会	知事からの諮問 方法書の内容の検討 住民意見の概要の検討
令和3年5月31日	審 査 会	方法書の内容の検討 関係市長意見の検討 答申の検討 知事への答申

愛知県環境影響評価審査会委員

生田 京子	名城大学理工学部教授
伊藤 由起	名古屋市立大学大学院医学研究科准教授
大石 弥幸	大同大学名誉教授
岡村 聖	名古屋産業大学現代ビジネス学部教授
長田 和雄	名古屋大学大学院環境学研究科教授
片山 直美	名古屋女子大学健康科学部教授
上島 通浩	名古屋市立大学大学院医学研究科教授
佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
鷺見 哲也	大同大学工学部教授
田代 ひつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
塚田 森生	三重大学大学院生物資源学研究科准教授
富田 寿代	鈴鹿大学国際人間科学部教授
中野 正樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
◎中山 恵子	中京大学経済学部教授
夏原 由博	名古屋大学名誉教授
西田 佐知子	名古屋大学博物館准教授
○二宮 善彦	中部大学工学部教授
橋本 啓史	名城大学農学部准教授
葉山 嘉一	公益財団法人日本鳥類保護連盟評議員
櫃田 珠実	名古屋芸術大学芸術学部教授
宮崎 多恵子	三重大学大学院生物資源学研究科准教授
義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科准教授
吉永 美香	名城大学理工学部教授

◎会長 ○ 会長代理

(敬称略、五十音順)

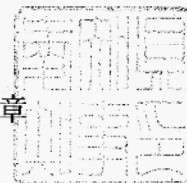
3 環 活 第 128 号

令和 3 年 5 月 31 日

愛知県環境影響評価審査会

会長 中山 恵子 様

愛知県知事 大 村 秀 章



知多火力発電所 7, 8号機建設計画 環境影響評価方法書について (諮問)

このことについて、愛知県環境影響評価条例(平成10年愛知県条例第47号)第33条において準用する同条例第10条第4項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担 当 環境局環境政策部環境活動推進課

環境影響・リスク対策グループ

電 話 052-954-6211(ダイヤル)

愛知県環境影響評価審査会 知多火力発電所部会構成員

委員名	所属等
おおいし やさき 大石 弥幸	大同大学名誉教授
おさだ かずお 長田 和雄	名古屋大学大学院環境学研究科教授
たしろ むつみ 田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
とみた ひさよ 富田 寿代	鈴鹿大学国際人間科学部教授
にのみや よしひこ 二宮 善彦	中部大学工学部教授
はしもと ひろし 橋本 啓史	名城大学農学部准教授
ひつだ たまみ 櫃田 珠実	名古屋芸術大学芸術学部教授
みやざき た え こ 宮崎 多恵子	三重大学大学院生物資源学研究科准教授
よしなが み か 吉永 美香	名城大学理工学部教授

(敬称略、五十音順)